

科目名		担当者氏名	授業形式	単位	開講時期
幼児健康特論Ⅱ		松尾 瑞穂	講義	2	後期
必修・選択	修了要件	選択			
	資格要件				
学習目標	幼児健康特論Ⅰで学んだ知識や考え方を発展させ、課題に対して自分の考えをまとめて、発表できるようになることをねらいとする。そして、「幼児の生活習慣（休養・栄養・運動）」に関する内容や「生体リズム」に関する内容、「子どもの心身のおかしさや異変」に関する内容についての指導の実践力を高める。				
授 業 計 画					
回	項 目	授 業 内 容			
1	乳幼児期の社会性の発達	社会性の発達と近年の子どもを取り巻く環境			
2	早ね早起き朝ごはん運動	子どもの基本的な生活習慣の確立や生活リズム向上につながる運動について			
3	親子・家族の絆と健康	親子のふれあいの意義と役割			
4	健康と疲労（1）	子どもの疲労とレクリエーションとは			
5	健康と疲労（2）	保護者の疲労の実態と課題			
6	体育とは	子どもの健康に向けた体育について			
7	紫外線と健康	紫外線の役割と問題			
8	幼児・児童の健康	児童期の運動・発達をふまえた幼児の健康づくり			
9	運動会の意義と役割（1）	運動会の歴史			
10	運動会の意義と役割（2）	運動会の歴史や背景をふまえた現代の運動会の役割			
11	健康づくりへの取り組み（1）	国・地域における子どもたちの健康づくりに関する取り組み			
12	健康づくりへの取り組み（2）	全国各地の保育現場における子どもたちの健康づくりに関する取り組み			
13	健康啓発資料の作製（1）	子どもや保護者への健康づくり啓発の実態と課題			
14	健康啓発資料の作製（2）	健康啓発ポスターの作製、発表			
15	課題とまとめ	課題レポートの実施と全体の復習・まとめ			
参 考 書	前橋 明・松尾瑞穂ほか「子どもの未来づくり 健康〈保育〉」明研図書、2007 前橋 明「輝く子どもの未来づくり—健康と生活を考える—」明研図書、2009				
学習上の注意（自己学習、学外学習など）	「子どもの未来づくり 健康〈保育〉」を、テキストとして使用する。				
評価の方法と時期	出席状況、受講態度、課題作成を勘案した上で、総合的に評価する。				